

【近鉄小倉駅の駅舎形式について】

本委員会における近鉄小倉駅周辺地区まちづくりのご検討について、深く感謝申し上げます。委員会での議論を踏まえ、社内検討した結果、以下の意見を申し述べさせていただきます。

【お客様の観点から】

- ・小倉駅をご利用いただくお客様の現状の利便性を考慮する必要
(地平駅舎でホームにすぐにアクセスできる利便性)

【事業運営の観点から】

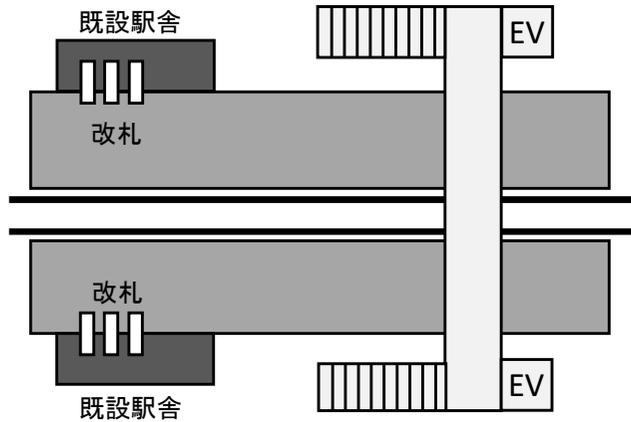
- ・コロナによる事業環境の急激かつ大幅な悪化
→事業実施における費用負担について、様々協議を行う必要
- ・複数改札でも、遠隔技術による対応により、様々な駅舎形式の可能性(別紙参照)。
- ・実現には、線路上での工事方法、駅広の状況、用地確保等も踏まえた継続協議が必要。

【意見まとめ】

- ・駅の形式については、今後詳細を検討しつつ、決定していくことが良いと考えます。
- ・今後のコロナ禍の影響度合い、任天堂資料館との連携など、情勢変化も見ながら、本委員会でご検討いただいている内容をもとに、宇治市様と協議を重ね、最善の結論を導いていく形でお願い申し上げます。

【別紙】自由通路整備・駅舎改良に係る想定される形式

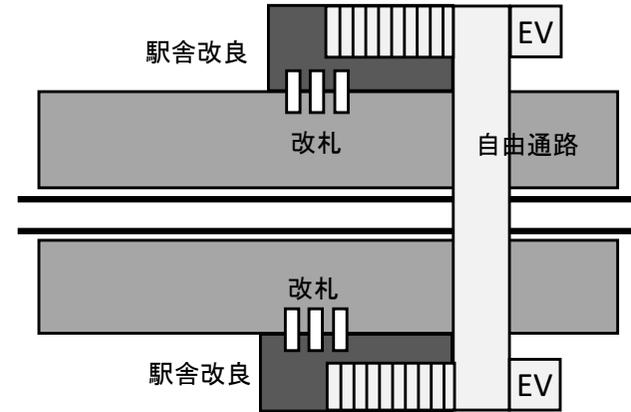
パターン1 既存駅舎存置＋跨線自由通路(構外)整備



特徴

- ・整備費は、3パターンの中で最も安価
- ・改札へのアクセス性が良好(平面アクセス)
- ・駅は現状のまま、駅と自由通路が少し離れる

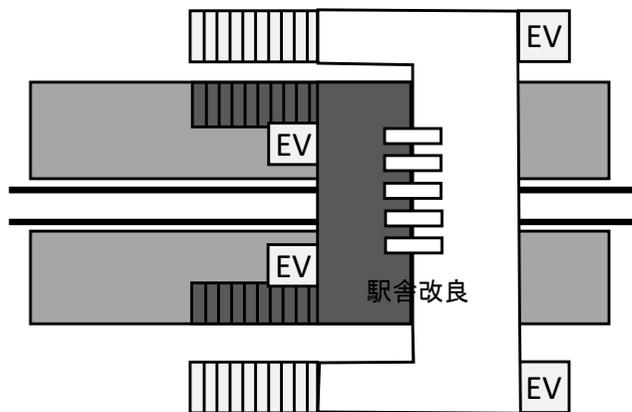
パターン2 駅舎改良(地平駅舎)＋跨線自由通路(構外)整備



特徴

- ・整備費は、パターン1と3の間。
- ・改札へのアクセス性が良好(平面アクセス)
- ・街の玄関のイメージをつくることが可能

パターン3 駅舎改良(橋上駅舎)＋跨線自由通路(構外)整備



特徴

- ・整備費は、3パターンの中で最も高価
- ・全てのお客様に上下移動が必要
- ・街の玄関のイメージをつくることが可能